



豊中市災害対応ドローン隊 「KITE」の発隊式を開催

豊中市消防局は、大規模地震や火災、水難救助事案などが発生した際に、被害状況の迅速な把握や救助捜索活動などを行い、被害の軽減を図るため、令和6年4月から災害対応ドローンの正式運用を開始します。

運用開始に先駆け、豊中市災害対応ドローン隊「KITE(カイト)」の発隊式を開催し、式典後にデモンストレーション飛行を行います。

「KITE」は、消防職員14名・消防団員4名の計18名で構成しています。

※「KITE(カイト)」命名の由来

「KITE(カイト)」は、日本語で「トビ」を意味します。上昇気流を利用して輪を描くように滑空し、優れた視力により上空を飛翔しながら目標を捕捉するトビの姿が、瞬時に空高く上昇し、上空から災害現場を撮影できるドローンと似ていることから命名しました。

また、トビと消防にはゆかりがあり、消防資機材である「とび口」は、トビのくちばしに似ていることが名前の由来となっているほか、大豊神社(京都市左京区)愛宕社前には火伏せとしてトビの像が建てられています。

ドローン隊のワッペンにはトビとドローンが描かれています。

豊中市災害対応ドローン隊「KITE」発隊式の概要

- 日時：12月18日(月)14時から30分程度
(式典後に屋内でデモンストレーション飛行を実施)
- 場所：豊中市消防局・北消防署合同庁舎5階講堂(岡上の町1丁目8番24号)



本市が所有する災害対応ドローン



「KITE」のワッペン

*取材を希望される場合は、12月18日(月)12時までに
問い合わせ先にご連絡ください。

【報道機関からの問い合わせ先】
消防局 消防総務課 [担当] 乾
TEL:06-6846-8418
メール:shokeiri@city.toyonaka.osaka.jp